

災害公営住宅入居意向調査結果  
災害公営住宅入居仮申込書の受付調査結果

岩手県陸前高田市

平成 26 年 2 月



## 目 次

1. 調査の概要	.....	-1-
2. 災害公営住宅入居意向調査の結果	.....	-2-
3. 災害公営住宅入居仮申込書の受付調査の結果	.....	-3-
(1) 仮申込みをする災害公営住宅の戸数について	.....	-3-
(2) 仮申込みをする世帯の状況について	.....	-4-
(3) 仮申込みをする地区、住宅等について	.....	-5-
(4) 居住の継続に関する希望について	.....	-7-
(5) グループ申込について	.....	-8-
(6) 自動車の所有状況及びペットの飼育状況について	.....	-9-

## 1. 「災害公営住宅入居意向調査」及び「災害公営住宅入居仮申込書の受付調査」の概要

### (1) 調査の目的

- ・ 東日本大震災で住宅を失った方を対象として、災害公営住宅への各地区の入居希望世帯数を把握し、入居をご希望される方に、円滑に入居していただくことを目的とする。

### (2) 対象世帯

- ・ 東日本大震災により市内で被災された世帯のうち、全壊、大規模半壊、半壊のり災証明がある方で、被災者住宅再建支援金（加算支援金）を受け取っていない世帯：2,761世帯

### (3) 調査票の配布方法

- ・ 2013（平成25）年10月7日（月）に、対象世帯宛てに郵送

### (4) 登録票の提出方法

- ・ 提出用封筒に封入し、郵送にて提出

### (5) 調査期間

- ・ 2013（平成25）年10月7日（月）～2013（平成25）年10月25日（金）
- ・ 2013（平成25）年12月25日（水）時点で市到着分まで集計

### (6) 配布数・回収数

- ・ 配布数： 2,761票
- ・ 回収数： 2,261票（回収率：81.9%）

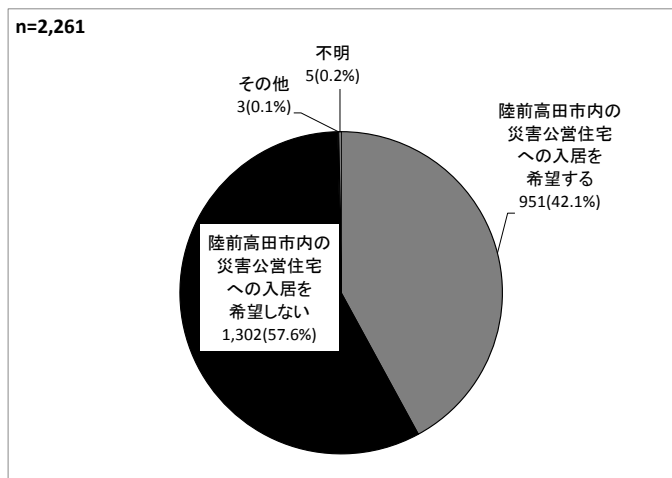
## 2. 災害公営住宅入居意向調査の結果

### 災害公営住宅への入居希望の有無について

災害公営住宅への入居希望の有無について、該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- 災害公営住宅の入居希望の有無について、「陸前高田市内の災害公営住宅への入居を希望しない」が 2,261 世帯中 1,302 世帯（57.6%）と最も多く、次いで「陸前高田市内の災害公営住宅への入居を希望する（一時的な入居を希望する場合も含む。）」が 2,261 世帯中 951 世帯（42.1%）となっている。

	回答数	構成比
陸前高田市内の災害公営住宅への入居を希望する（一時的な入居を希望する場合も含む。）	951	42.1
陸前高田市内の災害公営住宅への入居を希望しない	1,302	57.6
その他	3	0.1
不明	5	0.2
全体	2,261	100.0



### 3. 災害公営住宅入居仮申込書の受付調査の結果

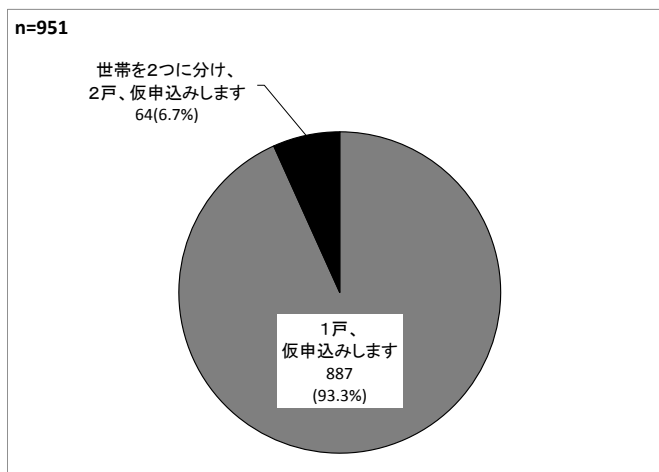
- ここからは、陸前高田市内の災害公営住宅への入居を希望する（一時的な入居を希望する場合も含む。）世帯の状況や仮申込みの内容について整理する。

#### (1) 仮申込みをする災害公営住宅の戸数について

災害公営住宅への仮申し込み戸数について、該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- 仮申込みをする災害公営住宅の戸数について、「1戸、仮申込みします」が951世帯中887世帯(93.3%)と最も多く、次いで「世帯を2つに分け、2戸、仮申込みします」が64世帯(6.7%)となっている。
- なお、3戸目の仮申込みを希望する世帯の回答が1件あるが、集計上は「世帯を2つに分け、2戸、仮申込みします」に含まれている。
- 1戸及び2戸（うち1つは3戸）の仮申込みの世帯数を戸数に置き換えると、1,016世帯が入居を希望している状況である。

	回答数	構成比
1戸、仮申込みします	887	93.3
世帯を2つに分け、2戸、仮申込みします	64	6.7
全体	951	100.0

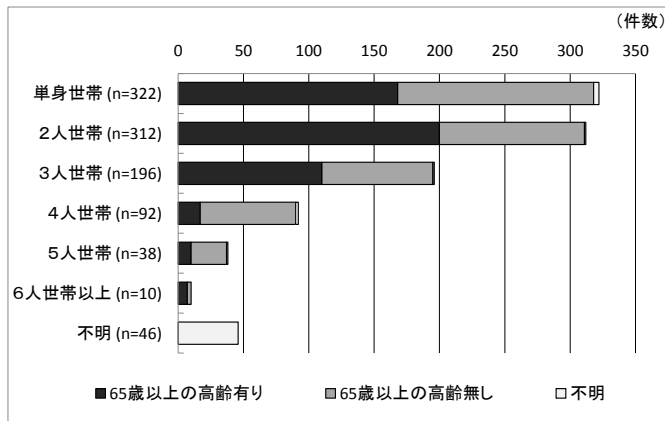


## (2) 仮申込みをする世帯の状況について

入居しようとする全ての方について、申込み者本人も含めて記入してください。

- 65歳以上の高齢者のいる世帯の割合は、全体では1,016世帯中512世帯（50.4%）となっており、単身世帯322世帯中168世帯（52.2%）、2人世帯312世帯中200世帯（64.1%）、3人世帯196世帯中110世帯（56.1%）となっている。

	合計	65歳以上の高齢者の有無		
		有り	無し	不明
全体	1,016	512	449	55
	100.0	50.4	44.2	5.4
単身世帯	322	168	150	4
	100.0	52.2	46.6	1.2
2人世帯	312	200	111	1
	100.0	64.1	35.6	0.3
3人世帯	196	110	85	1
	100.0	56.1	43.4	0.5
4人世帯	92	17	73	2
	100.0	18.5	79.3	2.2
5人世帯	38	10	27	1
	100.0	26.3	71.1	2.6
6人世帯以上	10	7	3	0
	100.0	70.0	30.0	0.0
不明	46	0	0	46
	100.0	0.0	0.0	100.0

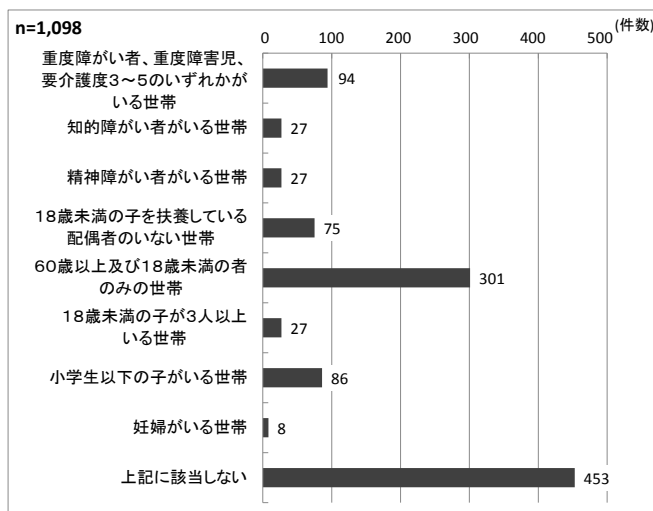


※表中下段は、構成比

入居しようとする世帯の状況について、該当するものを全て選び、番号に○をつけてください。  
(複数回答可)

- 仮申込みをする世帯の状況について、優先入居条件のいずれにも該当しない世帯が1,016世帯中453世帯（44.6%）と最も多い。世帯数（1,016世帯）から該当しない世帯（453世帯）を差し引くと、563世帯（55.4%）は何らかの優先入居条件に該当していることとなる。
- 優先入居条件への該当のなかでは、「60歳以上及び18歳未満の者のみの世帯」が1,016世帯中301世帯（29.6%）と最も多く、次いで「重度（1・2級）障がい者、重度障害児、要介護度3～5の要介護者のいずれかがいる世帯」が94世帯（9.3%）となっている。

	回答数
重度障がい者、重度障害児、要介護度3～5のいずれかがいる世帯	94
知的障がい者がいる世帯	27
精神障がい者がいる世帯	27
18歳未満の子を扶養している配偶者のいない世帯	75
60歳以上及び18歳未満の者のみの世帯	301
18歳未満の子が3人以上いる世帯	27
小学生以下の子がいる世帯	86
妊婦がいる世帯	8
上記に該当しない	453
全体	1,098



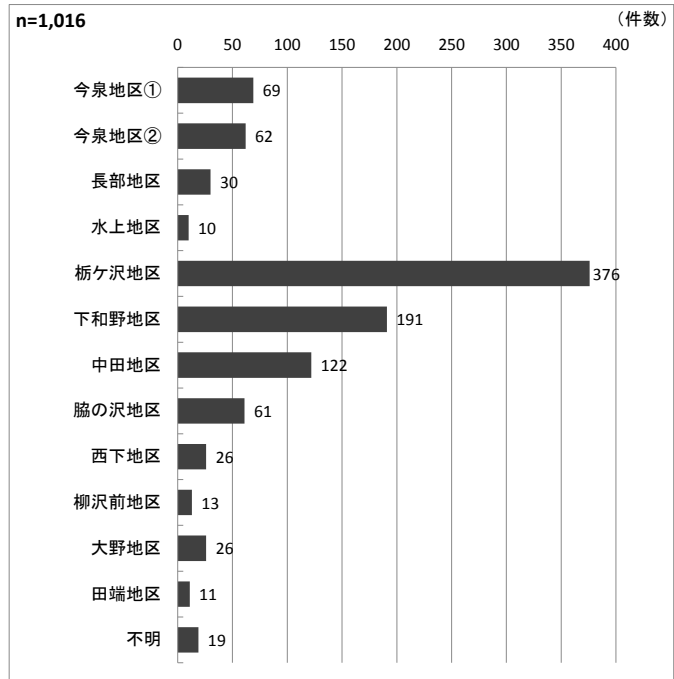
※複数回答可

### (3) 仮申込みをする地区、住宅等について

入居を希望する地区について、該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください

- 仮申込みをする災害公営住宅の地区について、「栃ヶ沢地区」が1,016世帯中376世帯(37.0%)と最も多く、次いで「下和野地区」が191世帯(18.8%)、「中田地区」が122世帯(12.0%)となっている。

	回答数	構成比
今泉地区①	69	6.8
今泉地区②	62	6.1
長部地区	30	3.0
水上地区	10	1.0
栃ヶ沢地区	376	37.0
下和野地区	191	18.8
中田地区	122	12.0
脇の沢地区	61	6.0
西下地区	26	2.6
柳沢前地区	13	1.3
大野地区	26	2.6
田端地区	11	1.1
不明	19	1.9
全体	1,016	100.0



#### <参考> 希望世帯数と建設予定戸数との比較

- 建設予定戸数と希望世帯数を比較すると、全体では希望世帯数の方が16世帯上回っており、また地区別に偏りが見られる。
- 地区別にみると、希望世帯数に対して建設戸数が大きく上回っているのは、中田地区(+75戸)、長部地区(+30戸)、水上地区(+20戸)、柳沢前地区(+15戸)等である。
- 希望世帯数に対して建設予定戸数が不足しているのは、栃ヶ沢地区(76戸不足)、下和野地区(71戸不足)、今泉地区②(32戸不足)となっている。
- 今後は、希望世帯数を踏まえた地区別の建設予定戸数の精査や、同じ町内に建設する災害公営住宅(具体的には気仙町(今泉地区①②)・長部地区・水上地区)、高田町(栃ヶ沢地区・下和野地区・中田地区)における、希望世帯の調整や希望の少ない地区への誘導等が検討課題となる。

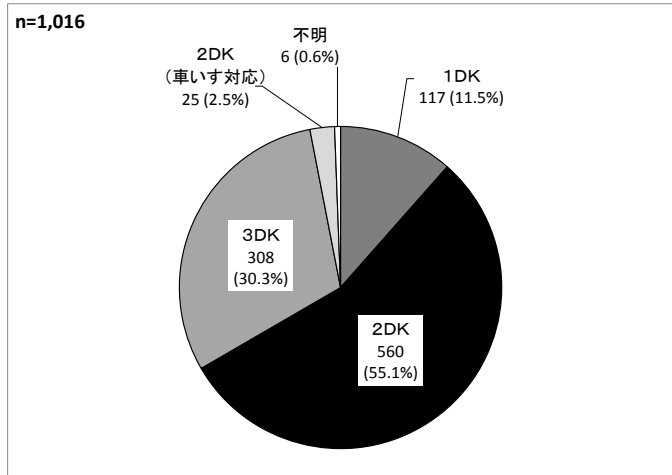
	回答数	建設予定戸数	差
今泉地区①	69	75	6
今泉地区②	62	30	-32
長部地区	30	60	30
水上地区	10	30	20
栃ヶ沢地区	376	300	-76
下和野地区	191	120	-71
中田地区	122	197	75
脇の沢地区	61	60	-1
西下地区	26	40	14
柳沢前地区	13	28	15
大野地区	26	40	14
田端地区	11	20	9
不明	19		-19
全体	1,016	1,000	-16



入居を希望する間取りについて、該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。

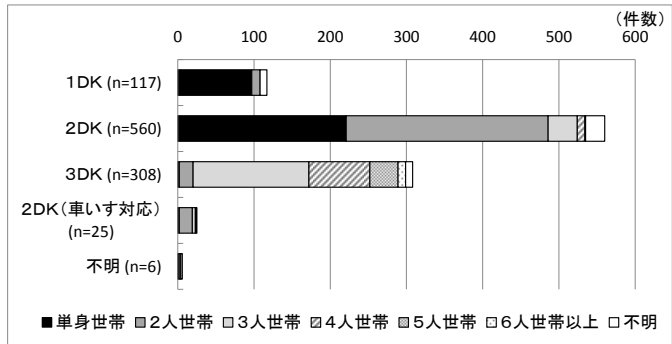
- 希望する災害公営住宅の間取りについては、「2DK」が1,016世帯中560世帯（55.1%）と最も多く、次いで「3DK」が308世帯（30.3%）となっている。

	回答数	構成比
1DK	117	11.5
2DK	560	55.1
3DK	308	30.3
2DK(車いす対応)	25	2.5
不明	6	0.6
全体	1,016	100.0



<希望する間取り別 世帯人数>

- 希望する間取り別にみると、1DKを希望する世帯では、単身世帯が、117世帯中97世帯（82.9%）と最も多くなっている。
- 2DKを希望する世帯では、2人世帯が560世帯中265世帯（47.3%）と最も多く、次いで1人世帯が221世帯（39.5%）となっている。
- 3DKを希望する世帯では、3人世帯が308世帯中152世帯（49.4%）と最も多く、次いで4人世帯が80世帯（26.0%）となっている。
- 2DK(車いす対応)を希望する世帯では、2人世帯が25世帯中17世帯（68.0%）と最も多くなっている。



	合計	単身世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯以上	不明
全体	1,016	322	312	196	92	38	10	46
	100.0	31.7	30.7	19.3	9.1	3.7	1.0	4.5
1DK	117	97	11	0	0	0	0	9
	100.0	82.9	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
2DK	560	221	265	38	10	1	0	25
	100.0	39.5	47.3	6.8	1.8	0.2	0.0	4.5
3DK	308	2	18	152	80	37	10	9
	100.0	0.6	5.8	49.4	26.0	12.0	3.2	2.9
2DK(車いす対応)	25	2	17	4	1	0	0	1
	100.0	8.0	68.0	16.0	4.0	0.0	0.0	4.0
不明	6	0	1	2	1	0	0	2
	100.0	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	33.3

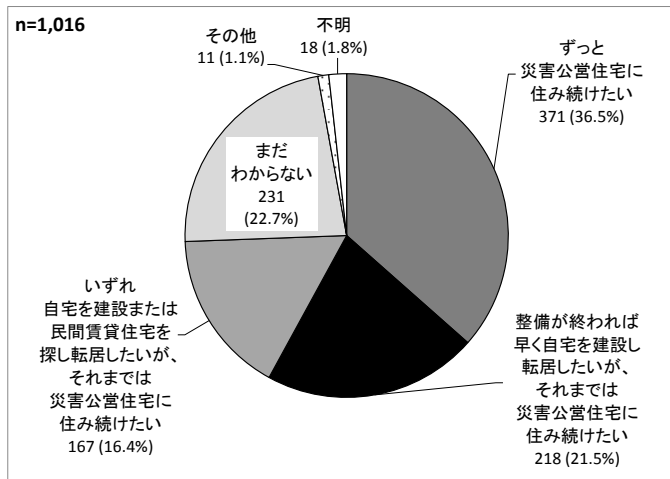
※表中下段は、構成比

#### (4) 居住の継続に関する希望について

居住の継続に関する希望について、該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- ・ 災害公営住宅への居住の継続について、「ずっと災害公営住宅に住み続けたい。」が 1,016 世帯中 371 世帯 (36.5%) と最も多く、次いで、「まだわからない。」が 231 世帯 (22.7%) となっている。
- ・ 「防災集団移転促進事業・土地区画整理事業地区の整備が終われば、できるだけ早く自宅を建設・購入して転居したいが、それまでは災害公営住宅に住み続けたい。」が 1,016 世帯中 218 世帯 (21.5%)、「いずれ自宅を建設または民間賃貸住宅を探し転居したいが、それまでは災害公営住宅に住み続けたい。」が 167 世帯 (16.4%) あり、計 385 世帯 (37.9%) が、一時的な災害公営住宅への居住を希望している。この割合は、「ずっと災害公営住宅に住み続けたい。」と回答した世帯とほぼ同じ割合となっている。
- ・ 将来的には災害公営住宅から一定数の世帯が退去することも予想され、復興の状況にあわせて、災害公営住宅及び既存の公営住宅に対するマネジメント計画を立案することも重要である。

	回答数	構成比
ずっと災害公営住宅に住み続けたい	371	36.5
整備が終われば早く自宅を建設転居したいが、それまでは災害公営住宅に住み続けたい	218	21.5
いずれ自宅を建設または民間賃貸住宅を探し転居したいが、それまでは災害公営住宅に住み続けたい	167	16.4
まだわからない	231	22.7
その他	11	1.1
不明	18	1.8
全体	1,016	100.0

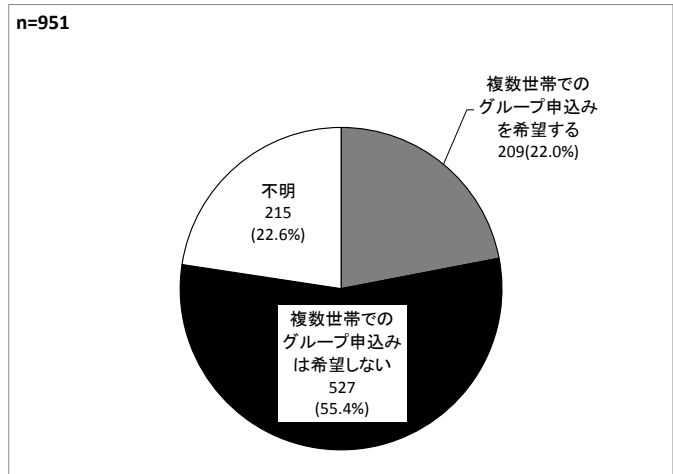


(5) グループ申込について

グループ申込みへの要望について、該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- グループ申込みへの要望について、グループ申込みしたい世帯は951世帯中209世帯(22.0%)となっている。

	回答数	構成比
複数世帯でのグループ申込みを希望する	209	22.0
複数世帯でのグループ申込みは希望しない	527	55.4
不明	215	22.6
全体	951	100



- 地区別のグループ申込みへの要望の有無は以下の通りとなっている。
- 「複数世帯でのグループ申込みを希望する」と回答した世帯は、田端地区で10世帯中3世帯(30.0%)、今泉地区②で56世帯中16世帯(28.6%)、今泉地区①で62世帯中16世帯(25.8%)と割合が高くなっている。

	合計	複数世帯でのグループ申込みを希望する	複数世帯でのグループ申込みは希望しない	不明
全体	951	209	527	215
	100.0	22.0	55.4	22.6
今泉地区①	62	16	28	18
	100.0	25.8	45.2	29.0
今泉地区②	56	16	24	16
	100.0	28.6	42.9	28.6
長部地区	27	6	16	5
	100.0	22.2	59.3	18.5
水上地区	10	0	8	2
	100.0	0.0	80.0	20.0
栃ヶ沢地区	359	88	201	70
	100.0	24.5	56.0	19.5
下和野地区	178	37	95	46
	100.0	20.8	53.4	25.8
中田地区	114	21	73	20
	100.0	18.4	64.0	17.5
脇の沢地区	56	9	29	18
	100.0	16.1	51.8	32.1
西下地区	24	4	13	7
	100.0	16.7	54.2	29.2
柳沢前地区	12	3	6	3
	100.0	25.0	50.0	25.0
大野地区	24	6	14	4
	100.0	25.0	58.3	16.7
田端地区	10	3	7	0
	100.0	30.0	70.0	0.0
不明	19	0	13	6
	100.0	0.0	68.4	31.6

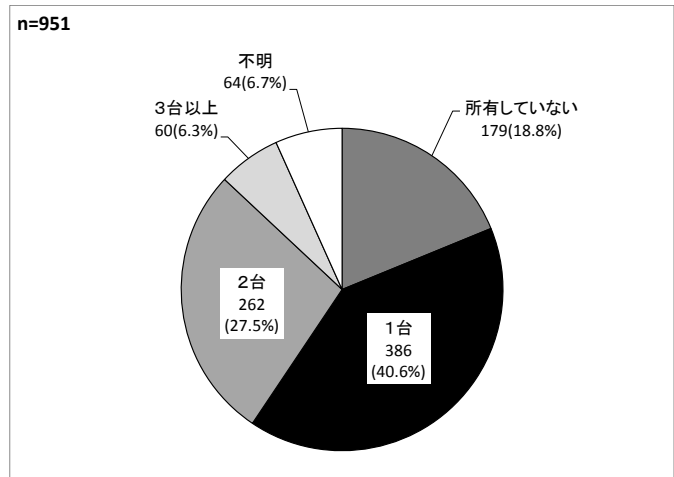
※表中下段は、構成比

(6) 自動車の所有状況及びペットの飼育状況について

平成25年10月1日現在の車の所有台数について、該当するものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- 平成25年10月1日現在の車の所有台数について、「1台所有」が951世帯中386世帯(40.6%)と最も多く、次いで「2台所有」が262世帯と(27.5%)となっている。
- 1台以上車を所有している世帯は、708世帯(74.4%)となっている。
- 車の所有台数を概算すると、計1,090台以上となり、回答数の約1.15倍となっている。

	回答数	構成比
所有していない	179	18.8
1台	386	40.6
2台	262	27.5
3台以上	60	6.3
不明	64	6.7
全体	951	100



- 地区別の車の所有台数は以下の通りとなっている。

	合計	所有して いない	1台	2台	3台以上	不明	想定される 車の所有台数 (台以上)
全体	951	179	386	262	60	64	1,090
	100.0	18.8	40.6	27.5	6.3	6.7	114.6
今泉地区①	62	13	20	15	7	7	71
	100.0	21.0	32.3	24.2	11.3	11.3	114.5
今泉地区②	56	12	21	14	5	4	64
	100.0	21.4	37.5	25.0	8.9	7.1	114.3
長部地区	27	4	13	7	2	1	33
	100.0	14.8	48.1	25.9	7.4	3.7	122.2
水上地区	10	3	2	5	0	0	12
	100.0	30.0	20.0	50.0	0.0	0.0	120.0
栃ヶ沢地区	359	64	143	114	17	21	422
	100.0	17.8	39.8	31.8	4.7	5.8	117.5
下和野地区	178	37	89	38	3	11	174
	100.0	20.8	50.0	21.3	1.7	6.2	97.8
中田地区	114	21	39	37	13	4	152
	100.0	18.4	34.2	32.5	11.4	3.5	133.3
脇の沢地区	56	12	25	8	4	7	53
	100.0	21.4	44.6	14.3	7.1	12.5	94.6
西下地区	24	5	8	4	3	4	25
	100.0	20.8	33.3	16.7	12.5	16.7	104.2
柳沢前地区	12	2	5	3	0	2	11
	100.0	16.7	41.7	25.0	0.0	16.7	91.7
大野地区	24	2	10	7	3	2	33
	100.0	8.3	41.7	29.2	12.5	8.3	137.5
田端地区	10	3	4	3	0	0	10
	100.0	30.0	40.0	30.0	0.0	0.0	100.0
不明	19	1	7	7	3	1	30
	100.0	5.3	36.8	36.8	15.8	5.3	157.9

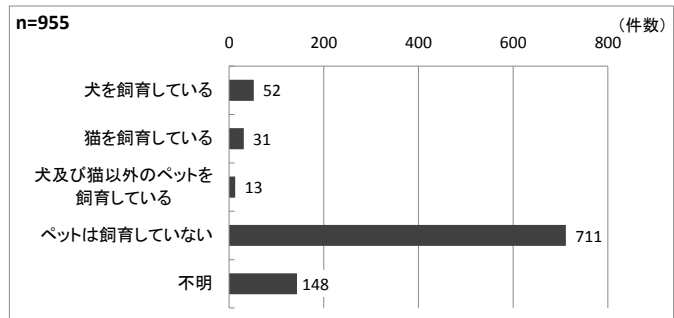
※表中下段は、構成比

平成25年10月1日現在のペットの飼育状況について、該当するものを全て選び、番号に○をつけてください。(複数回答可)

- 平成25年10月1日現在のペットの飼育状況について、「ペットは飼育していない」が951世帯中711世帯(74.8%)と最も多い。
- 世帯数(951世帯)からペットは飼育していない(711世帯)及び不明(148世帯)の世帯を差し引くと、92世帯(9.7%)が何らかのペットを飼育していることとなる。
- 「犬及び猫以外のペットを飼育している」と回答した世帯のうち、具体的に飼育している動物の種類については、下記の回答があった(カッコ内は回答数)。  
ハムスター(2)、ハリネズミ(2)、フェレット、セキセイインコ、金魚

	回答数
犬を飼育している	52
猫を飼育している	31
犬及び猫以外のペットを飼育している	13
ペットは飼育していない	711
不明	148
全体	955

※複数回答可



- 地区別のペットの飼育状況は以下の通りとなっている。

	合計	犬を飼育している	猫を飼育している	犬及び猫以外のペットを飼育している	ペットは飼育していない	不明	ペットを飼育している世帯
全体	951	52	31	13	711	148	92
	100.0	5.5	3.3	1.4	74.8	15.6	9.7
今泉地区①	62	5	0	0	48	9	5
	100.0	8.1	0.0	0.0	77.4	14.5	8.1
今泉地区②	56	4	0	0	41	11	4
	100.0	7.1	0.0	0.0	73.2	19.6	7.1
長部地区	27	1	2	0	22	2	3
	100.0	3.7	7.4	0.0	81.5	7.4	11.1
水上地区	10	1	1	0	7	1	2
	100.0	10.0	10.0	0.0	70.0	10.0	20.0
栃ヶ沢地区	359	15	10	5	275	56	28
	100.0	4.2	2.8	1.4	76.6	15.6	7.8
下和野地区	178	6	2	2	140	28	10
	100.0	3.4	1.1	1.1	78.7	15.7	5.6
中田地区	114	16	9	1	75	14	25
	100.0	14.0	7.9	0.9	65.8	12.3	21.9
脇の沢地区	56	0	3	2	38	14	4
	100.0	0.0	5.4	3.6	67.9	25.0	7.1
西下地区	24	3	3	0	15	3	6
	100.0	12.5	12.5	0.0	62.5	12.5	25.0
柳沢前地区	12	1	0	0	10	1	1
	100.0	8.3	0.0	0.0	83.3	8.3	8.3
大野地区	24	0	0	1	19	4	1
	100.0	0.0	0.0	4.2	79.2	16.7	4.2
田端地区	10	0	1	0	8	1	1
	100.0	0.0	10.0	0.0	80.0	10.0	10.0
不明	19	0	0	2	13	4	2
	100.0	0.0	0.0	10.5	68.4	21.1	10.5

※表中下段は、構成比